

「鉄と鋼」寄稿規程についてのお知らせ

本会編集委員会では、講演大会の講演概要集のオフセット印刷への変更に伴い、会誌の編集につき会員各位に少しでもご満足いただけるようあらゆる角度から慎重に検討を重ね、昭和42年9月より下記のごとく「寄稿規程」を改訂し、実施しております。

本規程では 1) 論文は講演発表と関係なく随時投稿することができます。また、2) 従来掲載の少なかつた現場技術およびこれに関連する諸技術の成果を発表できるよう技術報告欄を設けました。このほか研究速報、寄書、誌上討論についても任意に投稿することができます。

会員各位には「寄稿規程」ならびに「解説」をご覧のうえ奮ってご寄稿下さるようご案内申し上げます。

なお会誌「鉄と鋼」には会員からの寄稿原稿による編集のほか、技術資料、展望、解説などの記事を広い範囲に依頼し、内容の豊富かつ充実した編集を行なう方針であります。各位の一層のご協力をお願いいたします。

「鉄と鋼」寄稿規程

〔寄稿規程解説〕

- 1) 論文は講演発表とは関係なく随時投稿することができます。

編集委員会としましては、投稿論文はその内容から大別して (I) 一連の研究成果をまとめた総合的な性格をもった論文と (II) 速報的性格をもった論文 (従来の講演論文よりも内容の充実したもの) との2つの性格のものが投稿されることを期待します。原稿枚数の制限について特に規定を設けませんが、投稿者の自主的な判断によって、上記のいずれかの性格のものにできるだけ簡潔にまとめて投稿して下さい。査読の結果、その内容についての修正、削除、加筆などを必要とする場合は編集委員会より折り返し連絡します。

- 2) 技術報告は工業的に貢献する鉄鋼製造技術およびそれに関連する諸技術の成果の報告を希望します。

- 3) 研究速報は発表期日の優先性を必要とする著者の独創的研究成果を発表する欄とします。

- 4) 寄書は会員はもちろん非会員も含め各分野の方々から投稿いただき、相互の意見交換などの場とします。

- 5) 誌上討論は掲載された「論文」「技術報告」「研究速報」に対する討論で、会員からの自主投稿と編集者の意志の入ったものとの2本立てとします。

寄 稿 規 程

- 1) 本会会員は、会誌「鉄と鋼」に「寄稿区分」に示す原稿を投稿することができる。ただし、寄書は非会員も投稿することができる。

- 2) 原稿は、会誌に掲載する前に他の学協会誌およびそれに類する刊行物に発表されないものに限る。

- 3) 原稿は鉄鋼の学術ならびに技術の発展に寄与するものでなければならない。

- 4) 原稿は簡潔、正確であり、内容を容易に理解できるものでなければならない。

- 5) 原稿の執筆は「執筆要領」に基づくものとする。

- 6) 原稿の受理年月日は、原稿が本会に到着した日とする。

- 7) 原稿は編集委員会において審査し、掲載の可否を決定する。また審査の結果、修正、加筆、削除などのために原稿を返却することがある。その場合、編集委員会の指定した返却日を過ぎて再提出されたものについては、新規投稿とみなす。